



十六銀行



十六総合研究所

2024年9月30日

各位



医療法人社団恵真会との ポジティブインパクトファイナンス契約の締結について

株式会社十六銀行（頭取 石黒 明秀、以下「当行」といいます。）および株式会社十六総合研究所（社長 佐竹 達比古、以下「当社」といいます。）は、医療法人社団恵真会（理事長 三輪 俊太）とポジティブインパクトファイナンス（以下「PIF」といいます。）契約を締結いたしましたので、下記のとおりお知らせします。

PIFは、当行および当社にて、事業者さまの活動が外部（環境・社会・経済）に与えるインパクト（影響）を評価（特定・分析）し、ポジティブなインパクトの創出とネガティブなインパクトの低減に資するKPIを設定のうえ、定期的なモニタリングを通じてその達成に向けた取組みを支援していくことを目的とする資金調達手段です。

当行および当社は、PIFを通じて事業者さまと共通価値の創造をはかり、ともに持続的な成長を目指してまいります。

記

1. PIF契約概要

コース	ローンコース
-----	--------

2. 企業概要

所在地	岐阜県羽島郡笠松町円城寺873番地
事業内容	歯科診療所の運営、訪問歯科
設立	1989年6月
資本金	5百万円

3. インパクト評価（要旨） ※ 詳細は後掲の「評価書」をご参照ください。

特定インパクト	K P I	関連SDG s
地域に貢献する 歯科医療サービスの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2027年5月期までに訪問歯科における年間患者数を450名以上、2031年5月期までに600名以上とする。 (2024年5月期実績：約300名) ・ 2027年5月期までに小児在宅歯科の患者数を10名以上、2031年5月期までに30名以上とする。 (2024年5月期実績：0名) 	
環境に配慮した 事業活動	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2027年5月期までに営業車のうち40%以上、2031年5月期までに80%以上をエコカー（PHV車・HV車・EV車）へ切り替える。 (直近期実績：0台/3台) ・ 2027年5月期までに太陽光発電設備を設置する。 	 
従業員の働き やすい環境の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2031年5月期までに、認定歯科衛生士数を累計3名以上とする。 (2024年9月実績：0名) ・ 2027年5月期までに健康経営優良法人の認定を取得し、以後継続する。 	

以 上

【本件ご照会先：経営企画部 広報・IR室 TEL 058-266-2511】

医療法人社団恵真会
ポジティブインパクトファイナンス評価書

2024年9月30日



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

十六総合研究所は、十六銀行が医療法人社団恵真会（以下、「恵真会」）に対してポジティブインパクトファイナンス（以下、「PIF」）を実施するにあたって、同会の事業活動が環境・社会・経済に及ぼすインパクト（ポジティブインパクトおよびネガティブインパクト）を分析・評価した。この分析・評価は、国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した PIF 原則および PIF 実施ガイド（モデル・フレームワーク）、ESG 金融ハイレベル・パネルにおいてポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則ったうえで、十六総合研究所が十六銀行と共同で開発した評価体系に基づいている。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

目次

1. 企業概要と理念、サステナビリティ	- 3 -
(1) 恵真会の概要	- 3 -
(2) 恵真会のサステナビリティ	- 5 -
2. インパクトの特定	- 6 -
(1) 事業性評価	- 6 -
(2) バリューチェーン分析	- 7 -
(3) インパクトレーダーによるマッピング	- 8 -
(4) 特定したインパクト	- 11 -
(5) インパクトニーズの確認	- 14 -
(6) ポジティブインパクトに対する追加性、十六銀行との方向性の確認	- 16 -
3. インパクトの評価	- 17 -
4. モニタリング	- 20 -
(1) 恵真会におけるインパクトの管理体制	- 20 -
(2) 当社によるモニタリング	- 20 -

1. 企業概要と理念、サステナビリティ

(1) 恵真会の概要

【企業概要】

社名	医療法人社団恵真会
代表者	理事長 三輪 俊太
所在地	岐阜県羽島郡笠松町円城寺 873 番地
事業内容	歯科診療所（三輪歯科医院）の運営、訪問歯科
資本金	5 百万円
設立	1989 年 6 月
売上高	208 百万円（2024 年 5 月期）
従業員数	34 名（2024 年 5 月期）

【法人沿革】

1986 年	前代表者が三輪歯科医院を開設
1989 年 6 月	同会を設立
2020 年	現代表者が理事長に就任
2023 年	訪問診療用の新社屋を設立

恵真会は、岐阜県羽島郡笠松町にて、歯科診療所（三輪歯科医院）を運営している。

同会は、虫歯などの保険診療に加えて、自由診療（ホワイトニング・矯正・インプラント等）、訪問診療や認知症歯科に注力しており、総合歯科として幅広い歯科サービスを提供することで、地域市民の健康的な生活を支えている。

【理念について】

恵真会は以下の理念を掲げている。

「法人理念」

一生笑顔で一生おいしく 一生楽しい人生に貢献する

「私達の夢」

私たちの夢は、日本で一番従業員満足度が高い歯科関連法人になることです



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

①私たちの夢は、全従業員が夢とやりがいに熱い心を持って仕事に従事しお客様に喜ばれ、社会に憧れられる存在になることです。

②私たちの夢は、心の温かい会社になること、心根の優しい人間の集団になること。

そして社員とその家族に真に喜ばれる会社になることです。

「経営理念」

・法人が支えるものは従業員とその家族

①一生あなたと家族を支える

②原理原則に則った正しいサービスを行う

・全従業員が支えるものは、お客さまと従業員とその家族

①良い習慣を身に着ける

②行動指針を常に考え行動する

「行動指針」

主体性、行動力、論理力、協調性



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

(2) 患真会のサステナビリティ

患真会は歯科医療を通じて持続可能な社会の形成に寄与している。同会は社員教育に取り組むことで、高品質な歯科サービス提供につながると考えており、以下の取組みに注力している。

① 研修システム（OFF-JT）

従業員への継続的な教育体制により、幅広い臨床に対応できる高いスキルの取得をサポートしている。具体的には、定例の休診時間に患者の経過症例を発表する症例研究会を開催するほか、オンラインで専門医による勉強会を開催することで、高度な歯科医療技術や最新の知識を学ぶことができる。

② 現場教育（OJT）

同会の診療は、病院、施設、在宅など豊富な環境が整っており、幅広い現場における経験を通じて実践的なスキルを養い、歯科スタッフとしての成長につなげている。具体的な例として、新人オリエンテーションプログラムでは、同会の理念やビジョン、基本的な業務プロセス、患者対応の基本などを学ぶことができる。また、日報の記入により日常業務の効率化と改善をはかるほか、従業員と管理者で定期的な1on1ミーティングを実施することで、目標設定とフィードバックにより自己成長とキャリア形成の場を設けている。

③ チーム医療（継続した OJT）

同会は、各分野の専門医が在籍しており、チームとしての協力体制を整備している。これらの体制を活かし、経験豊富な従業員でも常に最新の知識と技術を維持し、あらゆるケースに対応できる力を養っている。難しい症例などに対しては、現場の状況を専門医にリアルタイムで情報共有し、迅速かつ確な対応を行っている。また、定期的なオンラインミーティングによりチーム全体の知識と経験を共有し、継続的な学びをサポートしている。

④ DX 化

同会は、DX により効率的かつ高品質なサービスの提供と、患者に寄り添ったサービスの実現に取り組んでいる。具体的には、電子カルテの導入やオンライン診療記録管理などの導入により、事務作業時間の削減に努め、患者との対話やケアに専念できる時間の確保に努めている。また、患者のデータ管理をクラウド化することにより、情報の共有とアクセスを容易にし、チーム全体で一貫したケアを提供することが可能な体制を整備している。



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

2. インパクトの特定

(1)事業性評価

恵真会は、創業以来、岐阜県羽島郡笠松町にて歯科診療所を運営しており、地域に根差した歯科サービスを提供している。同会は前述の通り、虫歯や歯周病治療などの基本的な保険診療に加えて、矯正歯科、ホワイトニング、インプラント等の自由診療を充実させるほか、近年では訪問歯科や認知症歯科にも注力している。代表者が、高齢の方の歯科治療や入れ歯について、実際に診療をしながら研究を行う学問分野である「有床義歯補綴学（ゆうしょうぎしほてつがく）・高齢者歯科学（こうれいしやしかがく）分野」を専攻したノウハウを生かして、高齢者や障がい者など、通院が困難な患者に対して、自宅や介護施設に訪問のうえ歯科治療を行う「訪問歯科診療」に積極的に取り組んでいる。

●三輪歯科医院 ※以下、同会 HP より引用。



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

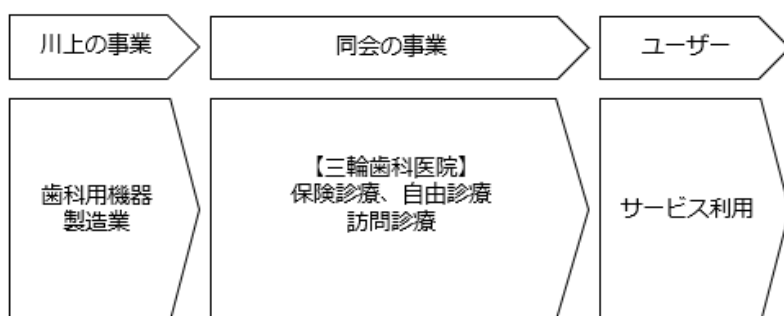
(2)バリューチェーン分析

恵真会は、総合歯科として幅広い歯科サービスを提供している。

同会の訪問診療では、介護施設や地域の内科診療所と定期的に交流をはかることで、意見交換をしやすい環境整備に取り組み、患者の状態を十分に把握したうえで、歯科診療を実施している。必要に応じてケアマネージャーと相談を重ね、訪問診療でのケア方法を決定するケースもある。

同会が地域と連携した歯科サービスを提供することで、高齢者が要介護状態になっても住み慣れた場所で自分らしい生活を続けるために地域内で協力する体制である「地域包括ケアシステム¹」の構築に寄与している。

●バリューチェーン図



¹ 地域包括ケアシステム：地域の実情に応じて、高齢者が可能な限り、住み慣れた地域でその保有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、医療、介護、介護予防、住まいおよび自立した日常生活の支援が包括的に確保される体制。2014年に成立した「地域における医療および介護の総合的な確保の促進に関する法律」において定義された。

(3)インパクトレーダーによるマッピング

●インパクトマッピング（インパクトレーダー改訂版 2022 に基づき十六総研作成）

バリューチェーン			川上の事業		同会の事業	
国際標準産業分類			3250		8620	
			医療及び歯科用機器・備品製造業		医療業及び歯科医療業	
大分類	インパクトエリア	インパクトトピック	PI	NI	PI	NI
社会	人格と人の安全保障	紛争				
		現代奴隷				
		児童労働				
		データプライバシー				
		自然災害				
	健康および安全性	—		●	●●	●
	資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質	水				
		食糧				
		エネルギー				
		住居				
		健康と衛生	●●		●●	
		教育				
		移動手段				
		情報				
		コネクティビティ				
		文化と伝統				
	ファイナンス					
	生計	雇用	●		●	
		賃金	●	●●	●	●
		社会的保護		●		●
平等と正義	ジェンダー平等				●●	
	民族・人権平等					
	年齢差別					
	その他の社会的弱者				●●	
社会経済	強固な制度・平和・安定	市民的自由				
		法の支配				
	健全な経済	セクターの多様性			●	
		零細・中小企業の繁栄	●			
	インフラ	—				
	経済収束	—				
自然環境	気候の安定性	—		●		
	生物多様性と生態系	水域		●		
		大気		●		
		土壌				
		生物種				
	生息地					
	サーキュラリティ	資源強度		●●		
廃棄物			●		●	

マッピング中の「●●」は重要な影響があるトピック、「●」は影響があるトピックを示している。

恵真会の事業を国際標準産業分類（ISIC）上の業種カテゴリに適用させたいえ、UNEP FI が提供するインパクトレーダーを用いて「ポジティブインパクト」（以下 PI）と「ネガティブインパクト」（以下 NI）を想定する。

恵真会の事業については「医療業及び歯科医療業（ISIC:8620）」、同会の川上の事業については「医療及び歯科用機器・備品製造業（同 3250）」を適用し、発生するインパクトの検証を行った。

【川上の事業】

川上の事業においては、特に重要な影響がある PI について検証する。

川上の事業においては、「健康と衛生」のインパクトエリアにて重要な影響がある PI が発現すると考えられる。

「健康と衛生」のエリアにおいては、歯科用機器を用いて診療を行うことで歯の健康に寄与するという PI が指摘される。

同会では、歯科用機器を用いて歯科サービスを提供することにより、PI の拡大に寄与している。

SDGs では以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「3.8: 質の高い基礎的な保健サービスへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する」

「健康および安全性」「資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（健康と衛生）」のエリアにおいては、歯科サービスの提供による利用者の健康や福祉への寄与という PI、労働条件によっては従業員への労働負荷が発生する NI が指摘される。

同会では虫歯などの保険診療や矯正歯科、インプラントなどの自由診療のほか、訪問歯科や認知症歯科に注力している。これらの幅広い歯科サービスの提供により、地域住民の健康な生活を支えることで PI の拡大に努めている。また、全社員が 18 時までには退社するというルールを設け、残業時間の管理を行うことで従業員の生活を守り、NI の緩和に努めている。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「3.8: 質の高い基礎的な保健サービスへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する」
- ・「8.8: 労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする」

「生計（雇用、賃金）」のエリアにおいては、従業員の雇用という PI が指摘される。

同会は、新人オリエンテーションに注力しており、医院の理念や基本的な業務プロセスから、患者対応

の基本を学ぶことができる。また、定例の休診時間を従業員の学習時間に充てており、症例検討会を院内で行っている。これらの取組みを通じて従業員のスキルアップにつなげ、PIの拡大に努めている。

SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「8.5:雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する」
- ・「8.8:労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする」

「サーキュラリティ（廃棄物）」のエリアにおいては、医療廃棄物が発生するというNIが発現する。患真会では、医療廃棄物の分別、廃棄物の削減・リサイクル等廃棄物を適切に処理することで、このNIの緩和に努めている。

SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「12.5: 廃棄物の発生を減らす」

なお、「生計（賃金、社会的保護）」「平等と正義（ジェンダー平等、その他の社会的弱者）」「健全な経済（セクターの多様性）」のエリアにおけるNIについては、同会事業との関連性が希薄であると判断し、検証を省略した

【川下の事業】

川下の事業においては、エンドユーザーが対象となることから、同会の事業活動が与える影響が限定的であると判断し、検証を省略した。

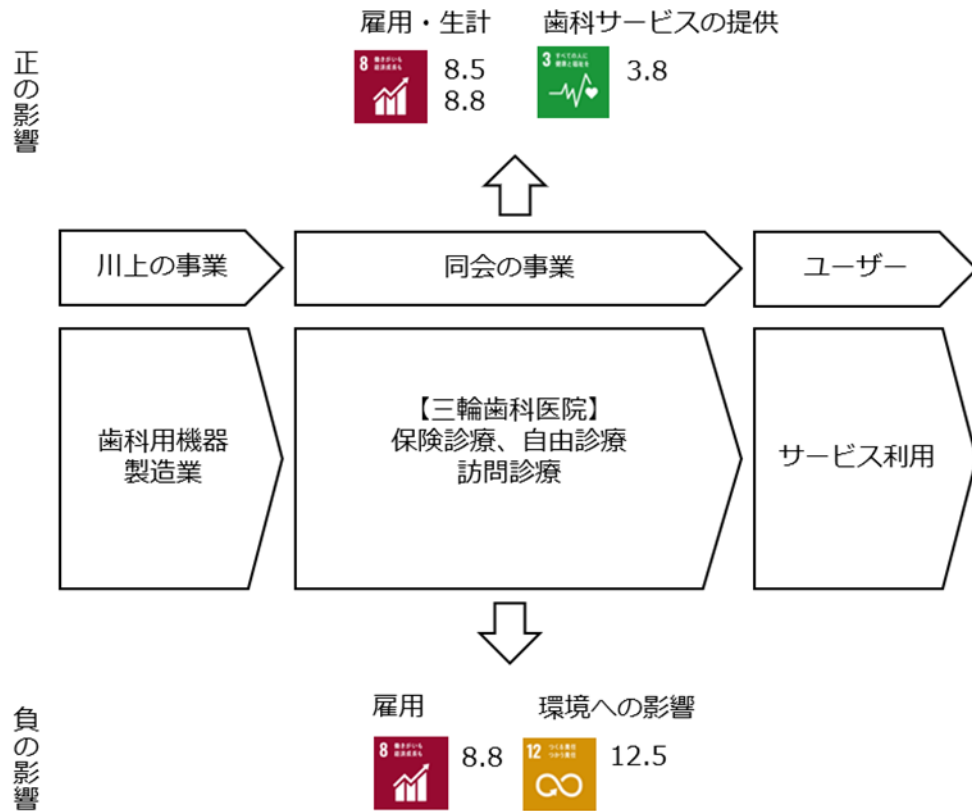


人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

(4)特定したインパクト

下図は「バリューチェーン分析」「インパクトマッピング」の結果を踏まえて、同会のバリューチェーンが与えるインパクトを可視化したものである。



以上を踏まえて同会のインパクトを下記のように特定した。

- 地域に貢献する歯科医療サービスの提供
- 環境に配慮した事業活動
- 従業員の働きやすい環境の整備



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

■ 地域に貢献する歯科医療サービスの提供

同会は、総合歯科として幅広い歯科サービスを提供している。なかでも訪問歯科診療に注力することで、ポジティブインパクトを拡大していく方針である。

同会では、高齢者や障がい者など通院が困難な患者に対して訪問歯科医療を実施している。同会では訪問歯科診療の専門機器である「ポータブルユニット²」を導入しており、虫歯の治療や入れ歯の調整など、訪問先でも院内と同様の治療を行うことが可能である。また、医師や看護師、介護士、管理栄養士などと連携のうえ、患者の全身疾患の状態を考慮した歯科医療を提供できる体制を構築している。

また、訪問歯科医療の中でも小児在宅サービスを新たに開始する予定である。小児在宅サービスとは、重度の肢体不自由と障がい重複した「重症心身障がい児」や、医療ケアが日常的に必要な子どもなどに対する訪問医療サービスである。小児在宅歯科は、独自の技術が必要であり、全国でも希少なサービスであるものの、代表者をはじめ同会のノウハウを生かして本サービスを開始のうえ、社会課題の解決に向けて取り組んでいく方針である。

このインパクトは UNEP FI のインパクトレーダーでは「健康および安全性」「資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（健康と衛生）」のエリアに該当し、社会的側面の PI を拡大すると考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「3.8: 質の高い基礎的な保健サービスへのアクセスを含む、ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を達成する」

■ 環境に配慮した事業活動

同会は、環境に配慮した事業活動を推進することで、ネガティブインパクトの緩和に努めていく方針である。

具体的には、同会の訪問診療で利用する営業車を順次 PHV などのエコカーに切り替えることで、事業活動から生じるエネルギーの削減に取り組んでいく。また、2023 年に設立した訪問医療用の新社屋の屋上に、太陽光発電設備を設置のうえ、施設内で利用する電力を再生可能エネルギーに切り替えていく方針である。これらの取組みにより環境に配慮した歯科医療サービスの提供に努めていく。

インパクトマッピングでは指摘がなされていないものの、このインパクトは UNEP FI のインパクトエリア・トピックでは、「気候の安定性」のカテゴリに該当し、環境的側面において NI を緩和すると考えられる。

SDGs では、以下のターゲットに該当すると考えられる。

² ポータブルユニット：歯科専用の治療設備をコンパクトにまとめた装置のこと。



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

- ・「7.3:エネルギー効率の改善率を増やす」
- ・「13.3:気候変動の緩和、適応、影響軽減及び早期警戒に関する教育、啓発、人的能力及び制度機能を改善する」

■ 従業員の働きやすい環境の整備

同会は、従業員が快適に働ける環境を整えることが高品質な医療サービス提供につながると考えており、様々な施策や社員教育に注力している。

具体的には、従業員が快適に働ける環境の整備においては、全社員が18時までに退社するというルールを設けることで残業時間の抑制に努め、従業員の生活を守ることを意識している。

社員教育においては、同会の理念や業務プロセス、患者対応の基本を学ぶ新人オリエンテーションの充実に努めるほか、WEB適性検査により、従業員に合った人材配置や育成プランを作成している。また、定例の休診時間に、患者の経過症例を発表する症例研究会等を開催することで、最新の知識を常にインプットする場を設け、従業員のスキルアップにつなげている。

今後は、健康経営優良法人の認定を取得のうえ、従業員が働きやすい環境の醸成に努めるほか、高度な知識や技能を持つ「認定歯科衛生士³」を増加させ、従業員のキャリア形成と高品質な歯科医療サービスの提供に取り組んでいく方針である。

このインパクトはUNEP FIのインパクトリーダーでは「健康および安全性」「生計（雇用）」のエリアに該当し、社会的側面のPIを拡大するとともに、NIを緩和すると考えられる。

SDGsでは、以下のターゲットに該当すると考えられる。

- ・「8.5:雇用と働きがいのある仕事、同一労働同一賃金を達成する」
- ・「8.8:労働者の権利を保護し、安全・安心に働けるようにする」

³ 認定歯科衛生士：特定する専門分野において高度な業務実践の知識・技能を有すると認められた歯科衛生士の資格のこと。

(5)インパクトニーズの確認

①日本におけるインパクトニーズ

国内におけるSDGインデックス&ダッシュボードを参照し、そのインパクトニーズと同会のインパクトとの関係性を確認した。

本 PIF において特定したインパクトに対応するSDGsのゴールは、以下の4点である。

「3:健康的な生活を確保し、福祉を促進する」

「7:すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する」

「8:包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用（ディーセント・ワーク）を促進する」

「13:気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる」

国内におけるSDGダッシュボード上では、「3」に関しては課題が残る、「7」「8」に関しては「大きな課題が残る」、「13」に関しては「重要な課題が残る」とされており、同会の地域に貢献する歯科医療サービスの提供や、環境に配慮した事業活動が、国内のインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。



(出所：SDSN)

②岐阜県におけるインパクトニーズ

また、同会の本社所在地が岐阜県におけるものであることから、「岐阜県 SDGs 未来都市計画（第 2 期）」を参照し、岐阜県内における SDGs 達成に向けての課題を確認した。下記のとおり、岐阜県は「温室効果ガス削減に向けた取組み」や「再生可能な地上資源への転換」等を SDGs 達成に向けての課題とするなか、同会の環境に配慮した事業活動などが、岐阜県内におけるインパクトニーズと一定の関係性があることを確認した。

「岐阜県第 2 期 SDGs 未来都市計画」より今後取り組む課題を抜粋

（環境）

- ・ 地球温暖化により大雨の頻発化、降水日数の減少、動植物の分布域の変化等の気候変動の影響が生じており、地球温暖化の要因となる温室効果ガス削減に向けた取組みや、気候変動の影響による被害の防止・軽減を図る取組みが必要となっている。
- ・ 近年、プラスチックごみによる海洋汚染が深刻化し、生態系や人の健康への影響が懸念されている。また、国内の食品ロスは、世界の食料援助量の 1.2 倍に相当する 522 万 t に上っている。限りある地球資源を有効に活用していくため、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会からの脱却を図り、地下資源（化石燃料、鉱物資源等）依存から再生可能な地上資源（樹木、農産物等）への転換を進めていく必要がある。
- ・ 開発等による自然環境への影響や野生生物の領域への過度の干渉等の状況を踏まえ、改めて生態系や生物多様性の価値と機能を見つめ直し、自然と人が共生できる社会の確立が必要となっている。

（経済）

- ・ 本県の様々な産業において、人口減少・少子高齢化、人材の都市部への集中などによる人手不足が深刻化しており、人材の確保・育成とともに、多様な働き方への対応や生産性の向上が急務となっている。また、デジタル技術を活用したビジネス変革が求められているが、専門的なスキルや知識を持つ人材が不足している。
- ・ 新型コロナウイルス感染症等によるライフスタイルや原油・原材料価格や物価の高騰、急激な円安等による社会経済情勢の変化は、特に、中小企業・小規模事業者の経営を圧迫しており、事業継続と変化に強い経営体質や産業構造へのシフトが必要となっている。

（社会）

- ・ 持続可能な社会の実現には、多様性を認め合い、女性や障がい者、外国人、高齢者など、誰もが



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

社会参画の機会を持ち、活躍でき、生きがいを得られる社会的包摂が重要となっている。

- ・ 将来を担う子どもたちが、地域社会の一員として考え行動できる人材となるよう、ふるさと岐阜への誇りと愛着を育むふるさと教育や産業教育、デジタル化やSDGsといった課題にも対応できる教育が必要である。
- ・ 地域の医療提供体制を確保するため、医師不足や、地域偏在等を解消する必要がある。また、高齢化等に起因する要介護者の増加に伴い福祉人材が求められているが、不足している。
- ・ 地域課題にとどまらず、環境問題や食料問題、世界平和等、グローバルな課題にも対応する必要がある。

(6) ポジティブインパクトに対する追加性、十六銀行との方向性の確認

ここでは特定した PI について追加性があること、十六銀行の SDGs の取組みと方向性が同じであることを確認する。本 PIF で特定した PI は「地域に貢献する歯科医療サービスの提供」と「従業員の働きやすい環境の整備」である。

「地域に貢献する歯科医療サービスの提供」では、訪問歯科医療の拡大と、小児在宅歯科の開始により、地域に貢献する歯科サービスを提供していく。

「従業員の働きやすい環境の整備」では、従業員の働きやすい環境の整備と、キャリア形成のためのスキルアップの場を設けることで、高品質な歯科医療サービスの提供に努めていく。

以上から、上記の PI は SDGs を達成するために、効果が期待できる取組みであり、追加性があるものと評価できる。

十六フィナンシャルグループでは、「十六フィナンシャルグループ SDGs 宣言」の中で「地域社会の活性化」「地域社会の持続的発展」「多様な人材の活躍推進」「環境保全と気候変動対策」「ガバナンスの高度化」の5つをSDGs達成に向けた重点課題（マテリアリティ）としている。

本 PIF で特定したインパクトは「地域に貢献する歯科医療サービスの提供」については「地域社会の持続的発展」、「環境に配慮した事業活動」については「環境保全と気候変動対策」、「従業員の働きやすい環境の整備」については「多様な人材の活躍推進」と、それぞれ方向性が一致する。

以上から、本 PIF の取組みは追加性のある PI 創出支援を行うものであり、その本源的目的との合致を確認したうえで SDGs 達成に向けた資金需要と資金供給とのギャップを埋めることを目指すものである。



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

3. インパクトの評価

ここでは、特定したインパクトの発現状況を今後も測定可能なものにするため、先に特定したインパクトに対し、それぞれに KPI を設定する。

■ 地域に貢献する歯科医療サービスの提供

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大
インパクトエリア・トピック	「健康および安全性」「資源とサービスの入手可能性、アクセス可能性、手ごろさ、品質（健康と衛生）」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none">・訪問歯科診療を拡大のうえ、地域に貢献する歯科医療サービスの提供に努める。・小児在宅歯科の診療サービスを開始し、顧客ニーズへの対応に取り組む。
KPI	<ul style="list-style-type: none">・2027 年 5 月期までに訪問歯科における年間患者数を 450 名以上、2031 年 5 月期までに 600 名以上とする。 (2024 年 5 月期実績：約 300 名)・2027 年 5 月期までに小児在宅歯科の患者数を 10 名以上、2031 年 5 月期までに 30 名以上とする。 (2024 年 5 月期実績：0 名)



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

■ 環境に配慮した事業活動

項目	内容
インパクトの種類	環境的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトエリア・トピック	「気候の安定性」
関連する SDGs	 
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・自社の営業車を順次エコカーに切り替えるほか、新たに導入する営業車は当初よりエコカーとし、エコカー比率を上昇させる。 ・新社屋（訪問医療用）への太陽光発電設備の設置により、再生可能エネルギー利用の拡大に取り組む。
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2027 年 5 月期までに営業車のうち 40%以上、2031 年 5 月期までに 80%以上をエコカー（PHV 車・HV 車・EV 車）へ切り替える。（直近期実績：0 台／3 台） ・2027 年 5 月期までに太陽光発電設備を設置する。

■ 従業員の働きやすい環境の整備

項目	内容
インパクトの種類	社会的側面においてポジティブインパクトを拡大 社会的側面においてネガティブインパクトを緩和
インパクトエリア	「生計（雇用）」「健康および安全性」
関連する SDGs	
内容・対応方針	<ul style="list-style-type: none"> ・勉強会など社員教育を実施して、従業員のスキルアップに取り組む。 ・健康経営に取り組み、従業員が働きやすい環境の醸成に努める。
KPI	<ul style="list-style-type: none"> ・2031年5月期までに、認定歯科衛生士数を累計3名以上とする。（2024年9月実績：0名） ・2027年5月期までに健康経営優良法人の認定を取得し、以後継続する。



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所

4. モニタリング

(1) 恵真会におけるインパクトの管理体制

同会では、三輪理事長が中心となり同会業務や事業計画などの棚卸を行い、本 PIF におけるインパクトの特定ならびに KPI の策定を行った。

今後についても、三輪理事長を中心に SDGs の推進ならびに本 PIF で策定した KPI の管理を行っていく方針である。

【モニタリング体制】

統括責任者	理事長 三輪 俊太
-------	-----------

(2) 当社によるモニタリング

本 PIF で設定した KPI および進捗状況については、同会と十六銀行、十六総合研究所の担当者が定期的な場を設けて情報共有する。少なくとも年に 1 回実施するほか、日々の情報交換や営業活動を通じて実施する。



人と、地域と、未来をむすぶ

十六総合研究所

【留意事項】

1. 本評価書の内容は、十六総合研究所が現時点で入手可能な公開情報、恵真会から提供された情報や同会へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況を評価したものであり、将来における実現可能性、ポジティブな成果等を保証するものではありません。
2. 十六総合研究所が本評価に際して用いた情報は、十六総合研究所がその裁量により信頼できると判断したものであるものの、これらの情報の正確性等について独自に検証しているわけではありません。十六総合研究所は、これらの情報の正確性、適時性、網羅性、完全性、および特定目的への適合性その他一切の事項について、明示・黙示を問わず、何ら表明または保証をするものではありません。
3. 本評価書に関する一切の権利は十六総合研究所に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用（複製、改変、送信、頒布、譲渡、貸与、翻訳及び翻案等を含みます）、または使用する目的で保管することは禁止されています。



人と、地域と、未来をむすぶ

16FG 十六総合研究所